

# 官報

號外 昭和十五年三月二十四日

## ○第七十五回 貴族院議事速記録第二十五號

昭和十五年三月二十三日(土曜日)午後一時  
五十四分開議

議事日程 第二十五號

昭和十五年三月二十三日

午後一時三十分開議

第一 昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第一 支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第一讀會

第三 恩給法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第四 豫定線釜石、盛間鐵道速成ノ請願

會議

第五 國立天然資源研究所設置ノ請願

會議

第六 山陽本線岩國驛、山口縣萩港間鐵道敷設ノ請願

會議

第七 豫定線岩國、日原間鐵道速成ノ請願

會議

第八 山陽本線周防高森、山口線德佐

會議

第九 國道十、十一號線中改良ノ請願  
會議

第十 釜石港ヲ第二種重要港灣編入ニ  
會議  
關スル請願

第十一 久留里線上總龜山、房總東線  
安房天津ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願  
會議

第十二 吳線安藝阿賀、藝備線志和口  
ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願  
會議

第十三 豫定線北見枝幸、雄武間鐵道  
速成ノ請願  
會議

第十四 皇祖ノ神勅等ヲ修身教科書ニ  
謹載ノ請願  
會議

第十五 信教自由ノ界域闡明ニ關スル  
請願  
會議

第十六 印刷用紙配給ニ關スル請願  
會議

第十七 大楠公史蹟顯彰ニ關スル請願  
會議

第十八 西日本旱害救濟ニ關スル請願  
會議

第十九 縣社青葉神社昇格ノ請願  
會議

第一讀會ノ續(委員長報告)  
會議

第二十 大雪山國立公園層雲峽ヨリ常呂郡留邊藥町ニ至ル自動車道路開鑿  
ノ請願  
會議

第二十一 豫定線札幌、増毛間鐵道速成ノ請願  
會議

第二十二 白樺鐵道買收ノ請願  
會議

第二十三 花柳病豫防法改正ニ關スル請願  
會議

第二十四 北海道旭川市ニ貯金支局設置ノ請願  
會議

第二十五 北海道拓殖鐵道補助年限延長ノ請願  
會議

第二十六 公共圖書館費國庫補助法制定ノ請願  
會議

第二十七 機船底曳網漁業用資材配給ニ關スル請願  
會議

第二十八 教育ニ關スル勅語暨本ヲ船舶ニ交付ノ請願  
會議

第二十九 秋田縣米代川改修ノ請願  
會議

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 報告ヲ致セマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、昭和十五年一度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案、日程第二、支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、木村大藏政務次官

(左ノ送付文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ)

裁判所構成法中改正法律案  
會計検査院法中改正法律案

同日委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

律案第一讀會三四〇

昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充  
ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議  
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

院法第五十四條ニ依リ及送  
昭和十五年三月二十二日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿  
衆議院議長 小山 松壽

**第二條** 前條ノ規定ニ依リ發行スル公債ハ之ヲ登録國債トス  
前項ノ公債ニ對シテハ證券ヲ發行シ本券ヲ記名式トシ附屬利札ヲ無記名式ト

昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充  
ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案

額ノ外一億七千七百七十萬圓ヲ限り公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

本去一公書

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付  
スル爲公債發行ニ關スル法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議  
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴素

支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付  
スル爲公債發行ニ關スル法律案  
第一條 支那事變ニ關スル一時賜金トシ  
テ交付スル爲政府ハ昭和十五年度分ト

シテ額面一億六千四百二十萬圓ヲ限り  
公債ヲ發行スルコトヲ得  
第二條 前條ノ規定ニ依リ發行スル公債  
ハ之ヲ登錄國債トス  
前項ノ公債ニ對シテハ證券ヲ發行シ本  
券ヲ記名式トシ附屬利札ヲ無記名式ト  
ス  
第三條 第一條ノ規定ニ依リ發行スル公  
債ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ於テ  
買入ルル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ又  
ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズ  
附 則  
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
〔政府委員木村正義君演壇ニ登ル〕  
○政府委員(木村正義君) 只今議題トナリ  
マシタ昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ  
充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案案外一  
件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致  
シマス、先づ昭和十五年度一般會計歳出ノ  
財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律  
案ニ付説明致シマス、昭和十五年度歳入歳  
出總額算及同年度歲入歳出總額算追加第一  
號ニ付フ一般會計歳入不足ノ補填ニ付キマ  
シテハ、之ニ關スル法律案ヲ今期議會ニ提  
出シテアリマスガ、今回別途提出致シマシ  
タ同年度歲入歲出總額算追加第二號ニ計上  
セル經費ノ所要財源額二億千六百六十餘  
萬圓ヨリ、普通歲入及前年度剩餘金ヲ以テ  
充當スペキ分三千八百三十餘萬圓ト、道路  
公債法ニ依ル公債金ヲ以テ充當スペキ分六  
十餘萬圓トヲ差引キタル殘額一億七千七百  
七十萬餘圓ニ付キマシテハ、今日ノ場合之

**第三條** 第一節ノ規定ニ依リ發行スル公債ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ於テ買入ルル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

(政府委員木村正義君演壇ニ登ル)

〔政府委員（木村正義君）〕只今議題トナリ  
マシタ昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ

尤ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案外一

件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説明致シマス、先づ昭和十五年度一般會計歳出ノ

財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律

柔ニ付説明致シマス、昭和十五年度歳入歳

正纏豫算及同年度歳入歳出總豫算追加第一號ニ伴フ一般會計歳入不足ノ補填ニ付キマ

シテハ、之ニ關スル法律案ヲ今期議會ニ提

出シテアリマスガ、今回別途提出致シマシ  
タ司年度歳入歳出總算追加第二號ニ付上

全國公債額大於日經預算達九第二號三語二  
セル經費ノ所要財源總額二億千六百六十餘

萬圓ヨリ、普通歲入及前年度剩餘金ヲ以テ充當スベキ分三千八百三十餘萬圓ト、首各

公債法ニ依ル公債金ヲ以テ充當スベキ分六

十餘萬圓トヲ差引キタル殘額一億七千七百七十萬餘圓ニ付キマシテハ、今日ノ場合之

——兩館圖書——

ヲ公債ニ依ルノ外アリマセヌノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ支那事變ニ關スル一時賜金トシテ交付スル為公債發行ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、今回ノ支那事變ニ關シ功勞アル者ニ對シテハ、滿洲事變其ノ他ノ戰役リタル陸海軍軍人、其ノ他ニ對スル行賞ハ、昭和十五年度以降緩急ノ順序ヲ考慮シ實行セラル、コトトナリマシタル處、是等功績アル者ニ對シテハ、滿洲事變其ノ他ノ戰役事變ノ例ニ準ジ、一時賜金ヲ賜與セラル、コトト考ヘテレマスルガ、此ノ賜金ハ公債證書ヲ以テ交付スルコト致シマスル爲、昭和十五年度分トシテ總額一億六千四百二十萬圓ダケ起債ノ權能ヲ得ル必要ガアリマス、尙本公債ハ其ノ性質ニ顧ミ、受賞者ヲシテ永ク保有セシムル爲之ヲ登錄國債トシ、之ニ對シ特別ナル證券ヲ發行スルコトトシ、且我國現下ノ財政經濟事情ニ鑑ミ、之ヲ政府ニ於テ買上グル場合ノ外、讓渡又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ザルコト致シタイト存ジマシテ、茲ニ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス  
○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 質疑ノ通告ガゴザイマス、松村義一君  
〔松村義一君演壇ニ登ル〕

ラレタル諸君ニ行賞ヲセラレルノデアラウト存ジマスガ、其ノ外ニ、或ハ負傷ヲシ或ハ召集解除ニナリタル人々ニ對シテモ、行ハレルノデアリマセウカ、尙其ノ上ニ、現在現役ニ留マツテ居ル人々ニモ其ノ範圍方及ブノデゴザイマセウカ、又出征セザル人ニモ及ブノデゴザイマスカ、又軍人ニ非ザル人ニ對シテモ及ブノデゴザイマスルカ、其ノ邊ノ範圍ヲ先ツ承リタイト存ズルノデゴザイマス、此ノ第一點ニ付キマシテハ、政府委員カラ御答ヲ願シテ結構ダト思フノデゴザイマス、其ノ次、第二點ニ付テ申上ゲマスガ、昭和十五年度ノ論功行賞ノ範圍ヲ決メラル、其ノ内閣ノ御心構ヘニ付テ同ヒタインデゴザイマス、只今事變ハマダ中途ニアルノデゴザイマス、從ツテ私ノ考ヲ以テ致シマスナラバ、論功行賞ヲ奏請セラル、ニ當リマシテハ、成ルベク其ノ範圍ヲ縮小サレルコトガ適當デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデゴザイマス、事變ノ中途ニ於キマシテ、論功行賞ヲセラレマシタ例ハ、満洲事變ナルニ付テアルノデゴザイマスガ、今回ノ事變ハ是ト事情ヲ全ク異ニ致シマシテ、國民全部ガ眞ニ舉國緊張ヲ要スル時期デアリ、引續イテ益々國民全體緊張シナケレバナラヌ時期デアルノデゴザイマス、斯ウ云フ時期ニ於キマシテ、現在支那ニ於キマシテハ注精衛氏ヲ中心トスル新政府が將ニ出來上ラムトシテ居ルノデゴザイマス、而シテ我方帝國ニ於キマシテモ、近ク特派大使ヲ派遣セラル、ト云フヤウナ狀況ニアルノデゴザ

立ヲシ、而モ特派大使デモ送ラル、ト云フ  
ヤウナ時期ニ際シテ、多數ノ範圍ニ亘リマシ  
テ論功行賞ガ行ハル、ヤウナコトニ相成リ  
マスルト云フト、國民ノ此ノ緊張氣分ガ或  
ハ緩ミハセヌカ、薄ラギハセヌカト云フ懸  
念ヲ致スノデゴザイマス、尙時局下國民緊  
ムト云フコトハ、誠ニ心配ニ堪ヘヌ所デア  
ルノデゴザイマス、斯ウ云フ際ニ於キマシ  
テハ、出來ルダケ論功行賞ノ範圍ヲ縮メラ  
ル、ト云フコトガ必要デアルヤウニ思フノ  
デゴザイマズ、斯ク私ガ申上デマシタ所デ、  
事變ニ際シテ或ハ戰死病歿セラレタ諸君ニ  
對シマシテ、出來ルダケ重キ行賞ヲ奏請セ  
ラル、ト云フコトハ、誠ニ適當デナケレバ  
ナラヌノデゴザイマス、寧ロ政府ノ御心構  
ヘト致シマシテハ、戰死病歿セラレタヤウ  
チ人達ニ對シマシテハ、其ノ足ラザルヲ憂  
ヘル、幾ラ手厚イ行賞ニナリマシテモ、其  
ノ足ラザルヲ憂ヘルト云フ御心構ヘヲ以テ  
十分ニ御手厚イ行賞ヲ奏請サル、コトガ必  
要デアルト思フノデゴザイマス、從ツテ此ノ  
公債ノ一億六千萬圓ノ額ハ、多イト云フコ  
トヲ斷ジテ申ス譯デハゴザイマセヌ、或ハ  
少キニ過グルカモ知ラヌノデゴザイマス、  
併シナガラ行賞ノ範圍ヲ御決メニナリマス  
ニ付キマシテハ、戰死病歿者ヲ除ク其ノ他  
ノ人ニ對シマシテハ、出來ルダケ少ク行賞ヲ  
セラル、ト云フコトガ、今日ノ時局ニ際シテ

ゴザイマス、併シナガラ政府ノ御事情ニ依リマシテ、是等ノ人々以外ニ範圍ヲ非常ニ擴張スルト云フ御心デゴザイマスナラバ、其ノ事情ガアルデゴザイマセウ、若シ左様ヲ詳細ニ承リタイノデゴザイマス、第三ハ、論功行賞ニ對スル根本的ノ方針デゴザイマス、此ノ根本的ノ方針ト申シマスノモ、行賞ヲ奏請セラル、範圍ノ問題デゴザイマス、從來ノ戰役竝ニ事變ニ際シマシテハ、出征ヲシテ身命ヲ賭シテ國家ノ爲ニ盡サレタ以外ニ、軍人ノ人達ニ對シマシテモ、相當多數ニ非ザル人達ニ對シマシテモ、相當多數ニ論功行賞ガ行ハレテ居ルノデゴザイマス、是ハ有難キ御恩召ニ出ヅルコトデゴザイマシテ、私共誠ニ恐懼感激ニ堪ヘマセヌ、併シナガラ今回ノ事變ハ、從來ノ戰役若シクハ事變ト全然其ノ狀況ヲ異ニ致シマシテ、眞ニ國家ノ總力戰デアルノデゴザイマス、國民全部ガ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ、多大ノ努力ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、先づ今回ノ事變ハデス、非常ニ多額ノ戰費ヲ要シテ居リマスカラ、之ニ對スル國民ノ負擔モ大いニ加重ヲセラレテ居ルノデゴザイマス、而シテ國民全部ガ、出征ノ將士ヲシテ後顧ノ憂ナカシテ國家ノ爲ニ眞ニ盡瘁セシムルロヤウナ工合ニ働くイテ居ラル、ノデゴザイマス、ソレガ爲ニ國民全部ガ大ナル努力ヲ拂シテ居

ルノデゴザイマス、又軍需品ヲ十分ニ豊力ヲ  
ナラシムル爲ニ、生産ニ付テ非常ナ努力ヲ  
シテ居リマスル外、出來ルダケ諸賛ヲ節約  
シテ、ソシテ軍需ノ豊富ナル供給ヲ期シテ  
居ルノデゴザイマス、ソレガ爲ニ國民全部  
ハ、衣食住全般ニ瓦ツテ非常ナル不自由ヲ  
甘ンジテ忍ンデ居ルノデゴザイマス、衣食  
住、總テノ生活ニ瓦ツテ非常ナ不自由ヲ忍ン  
デ居リマスノミナラズ、今日ニ於キマシテ  
ハ、醫藥ニ於テモ、藥ニ於キマシテモ尙不  
自由ヲ忍ンデ居ルノデゴザイマス、斯クノ  
如クシテ、此ノ時局ニ際シテ非常ナ節約ヲ  
シ、非常ナ努力ヲシテ居ルノデゴザイマス  
ルガ、尙事變ノ終結スルコトハ遠キ將來ニア  
ルノデゴザイマセウカラ、將來此ノ大努力、  
大犠牲ヲ益々續ケテ行カナケレバナラヌノ  
デアルノデゴザイマス、斯様ニ致シマシテ、  
眞ニ總力戰ノ實ヲ發揮致シマシテ、國民ハ  
其ノ分ニ應ジテ努力ヲシ、其ノ責任ヲ完ウ  
シテ居ルノデゴザイマス、斯カル狀態ノ下  
ニ於キマシテ、直接公ニ奉ジテ居ルト云フ  
爲ニ、官吏其ノ他公務ニ從事シテ居リマス  
者ガ多クノ恩賞ヲ受ケル、國民全部ハ左様  
ナ恩賞ハ受ケナイト云フコトニナリマスル  
ニ對シマシテ、直接公ニ奉ジテ居ルト云フ  
コトハ、私ハ不公平ダト思フ、固ヨリ出征  
ヲシ、サウシテ戰死若シクハ病歿セラレタ  
ル人達、又負傷ヲシテ一生難儀ヲセラレル  
人達、斯ウ云フ人達ニ對シマシテハ、出來  
ルダケノ厚イ恩賞ガ望マシイノデゴザイマ  
ス、又左様デゴザイマセヌデモ、實際戰線  
ニ立ツテ、生命ヲ的ニシテ戰ッタ云フ人々  
ニ對シマシテモ、十分ナル恩賞ガ必要デゴ

ザイマセウ、併シナガラ其ノ他ノ人達、從軍シナイ人達、鐵砲ノ下ヲ潛ラヌ人達、斯ウ云フ人達ニ對シマシテハ、假令ソレガ軍人デゴザイマシテモ、斯ウ云フ國民全部ノ總力戰ニ當リマシテハ、其ノ恩賞ヲ奏請サル、コトハ手控ヘラレルコトが必要デアラウ、左様ニ考ヘルノデアリマス、公務ニ從事シヨウガ從軍シマイガ、朝ニ在ラウガ野ニ在ラウガ、何レモ其ノ職分ヲ完ウスルノデゴザイマス、何レモ職分ヲ完ウシタル場合ニ於キマシテ、朝ニ在ルガ故ニ恩賞ヲ蒙リ、朝ニ在ラザルガ故ニ恩賞ヲ蒙ラヌト云フコトハ、私ハ不公平ダト思フ、從ツテ今回ノ論功行賞ヲ政府ガ奏請サレルニ當リマシテハ、其ノ範圍ヲ局限サレマシテ、出征シタル將士ダケニ論功行賞ヲ奏請スル、出征ゼガル人達ニ對シテハ、軍人デアツテモ軍人デナクテモ全部其ノ奏請ヲ差控ヘル、斯ウ云フ工合ニナナルコトガ、今日ノ時局ニ當ツテ極メテ適當ナモノデアルト私ハ考ヘルノデゴザイマス、併シ身命ヲ賭シテ國家ニ盡スト云フコトハ、是ハ神聖デゴザイマス、是ハ確然タルモノガアル、從ツテ身命ヲ賭シテ働く人達ニ對シテハ十分ナル恩賞ヲ奏請スル、其ノ他ノ人達ニ對シテハ、國民全部ト同ジヤウニ論功行賞ヲ奏請シナイト云フコトニナサルコトガ適當デアルト思フノデゴザイマス、殊ニ今回ノ事變ハ聖戦デゴザイマス、而シテ其ノ聖戦ノ目的ハ善隣友好ニアリマス、共同防共ニアリマス、而シテ經濟ノ提携ニアルノデゴザイマスルガ、共同防共ト言ヒ、經

シマスルナラバ、要スルニ善隣友好ニアルノデゴザイマス、善隣友好ガ徹底致シマスナラバ、總テ是等ノ目的ハ達スルモノト思フノデゴザイマス、此ノ善隣友好ヲ根柢トシテ、東亞ノ新秩序ヲ建設スルト云フコトガ其ノ目的デアルノデゴザイマス、而シテ此ノ善隣友好ヲ期スルト云フコトハ、事變ガ終リマシテ直チニ其ノ輝ヤカシイ成果ヲ舉ゲルコトハ困難ト思フノデゴザイマス、固ヨリ其ノ基礎ハ事變ノ終結ト同時ニ出來ルデゴザイマゼウガ、本當ニ華ヤカナル結果ヲ舉ゲマスルコトハ相當ノ年月ヲ要シナケレバナラナイト思フノデゴザイマス、其ノ相當ノ年月ノ間、事變ガ終局後相當ノ年月ノ間ハ、矢張リ國民ハ本當ニ緊張ヲシテ、此ノ聖戰、戰爭ノ目的ヲ達スル爲ニ努力シナケレバナラヌノデゴザイマス、大ナル犠牲ヲ拂ハナケレバナラヌノデゴザイマス、斯ウ云フ戰爭デゴザイマスガ故ニ、先程申上ゲマシタヤウニ論功行賞ノ範圍ヲ極メテ縮小サレマシテ、出征ノ將士ニ限ル、斯ウ云フコトニサル、コトガ必要デアルト云フコトヲ特ニ痛致シタノデアリマス、斯ク私申上ゲタ所デ、一切ノ例外ヲ認メナイト云フノデハゴザイマセヌ、出征セザル人達デゴザイマシテモ、眞ニ功績ガ顯著デゴザイマセウ、併シナガラ其ノ人達ハ顯著ナル功スト云フ極メテ少數ノ人達ニ對シマシテ論功行賞ノ奏請ヲナルコトハ必要デゴザイマセウ、併シナガラ其ノ人達ハ顯著ナル功績ガ有リ、何人ガ見テモ立派ナ手柄デアル

トス様ニ思フヤウナ、極メテ顯著ナル功績ラスト、左様ニ思フノデゴザイマス、此ノシテ居ラル、事實ハ私認タルノデゴザイマス、殊ニ官吏諸君ハ、先年物價ガ安イト云フ理由ヲ以チマシテ減俸ヲサレテ居リマス、而モ今日物價ガ非常ニ高クナツタ時代ニ於キマシテモ、尙其ノ減俸ヲ續ケテ居ラル、ノデゴザイマス、是ハ私ハ不合理ダト思フ、物價ガ安いカラト云フテ減俸フシ、今日ハ其ノ當時ヨリ非常ニ高クナツテ居ルニモ拘ラズ、尙減俸ヲ續ケラレルト云フコトハ不合理ダト思フノデアリマス、而モ官吏諸君ハ此ノ時局ニ際シテ專心一意國家ノ爲ニ働く事請ヲ手控ヘラレルコトガ適當デアルトト云フコトハ、極メテ適切ナ方法デアルト思フノデゴザイマスルガ、併シナガラ論功行賞ニ當リマシテハ、一般國民ト同様其ノ奏請ヲ手控ヘラレルコトガ適當デアルト思フノデアリマス、ソレニ對スル政府ノ御考ハ如何デゴザイマセウカ、之ヲ第三ニ御尋ネヲ申上ゲマス、以上ノ三點ニ付キマシテ、第一ノ問題ニ付キマシテハ政府委員、第二、第三ノ問題ニ付キマシテハ政府ヲ代表セラル、國務大臣、幸ニ總理大臣御出席デゴザイマスカラ、總理大臣ヨリ御答辯アラムコトヲ御願ヒ申上ゲマス

ハ勿論ト思フガ、其ノ外負傷者、或ハ召集解除者、又尙現役者ニ及ブカ、出征セザル人ニモ及ブカ、軍人ニ非ザル者ニモ及ブカ、斯ウ云フ諸點ニ付テ御尋ガアリマシタ、只今松村サンノ御述ニナリマシタ通リニ、今次ノ事變ハ國民ノ總力戰デアリ、他ノ事變ト餘程性質ヲ異ニスル、斯ウ云フ御話ノ點ニ付キマシテハ同感ニ存ジマスガ、論功行賞ノ奏請ノ範圍ニ付キマシテハ、滿洲事變其ノ他ノ戰役、事變行賞ノ從來ノ例ガアリマスルシ、ソレ等ノ例ヲ參照致シマシテ軍人、軍屬、一般ノ文官者、其ノ他事變關係ノ功勞者ニ對シ、恐ラク賜賞アラセラル、コトト存ズル次第アリマシテ、其ノ方針ヲ以テ此ノ法律案ヲ提出致シテ居ル譯ニアリマス、其ノ點ダケラ私カラ御答辯申上ゲマス

的ニ負擔ヲ致シテ居ル時デアルカラ、受賞者モ實際出征シテ砲火ヲ潜ツタモノニ限ルト、斯ウ云フ御趣意デゴザイマス、今回ノ行賞ノ範圍ニ付キマシテハ、從前ニ於ケル戰役、事變ノ行賞ト均衡ヲ取りマシテ、相應ノ恩賞ヲ實施セラル、ヤウニ致シタイトト考ヘテ居ルノデアリマス、固ヨリ御質問ノ如ク濫賞ニ陥ルガ如キコトハ、是ハ絶対ニ避ケナケレバナラスト考ヘテ居ル次第ニアリマス

○松村義一君 簡單デゴザイマスカラ、此ノ席カラ質問ヲ申上ゲマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 宜シウゴザイマズ

○松村義一君 先程ノ政府委員ノ御答ニ依リマスルト、事變關係者ニ相當廣ク及ブト云フ御話ノヤウニ伺ヒマシタ、總理大臣ノ御話ニ依リマスルト、出征ヲシテ歸還シタル人達ニ行賞ヲスル、是ハ十五年度ノ令デアルト云フ御話ノヤウデアリマシテ、其ノ間御答ガ幾ラカ齟齬シテ居ルヤウニモ思ハレルノデゴザイマスガ、政府委員ニ更ニ御尋ね申上ゲマスガ、來年度ノ一億六千萬圓ノ公債ハドノ範圍デゴザイマスカ、其ノ邊ヲモウ一度明確ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙私ノ第三ノ質問ニ對スル總理大臣ノ御答ハ、從前ノ例ト均衡ヲ得ル、斯ウ云フヤウナ御答ノヤウデゴザイマシタ、從ツテ私察セラレルノデゴザイマス、是ハ私遺憾ニ思フノデゴザイマス、從來ノ戰役若シクハ

事變ト今回ノ事變トハ、其ノ状況ヲ全ク異ニ致スノデゴザイマスルカラ、今回ノ事變ニ際シマシテハ、從來ノ例ニ拘ラズ特別ニ御考慮ヲサル、コトガ適當ダト思フノデゴザイマスルガ、是ハ意見ニ瓦リマスルカラ是以上申上ゲマセヌ、唯内閣ニ於カレマシテハ私ノ申上ゲマシタ趣旨ニ付キマシテモウ一度能ク御熟慮ヲ御願フ申上ゲタイノデゴザイマス、固ヨリ今日迄斯ウ云フコトニ御方針ヲ御決メニナリマシタコトハ御熟慮ノ結果トハ思フノデゴザイマスルガ、更ニ再三ノ御熟慮ヲ煩ハサレンコトヲ切ニ御願ヲ致シマス

○國務大臣米内光政君（登壇）第一ノ御質問ヲ  
私カラ御答へ致シマス、満洲事變其ノ他戰役、事變行賞ノ例ニ準ジマシテ軍人、軍屬、一般文官其ノ他事變關係功勞者ニ及ブベキモノデアリマスルガ、昭和十五年度分ト致シマシテハ、戰死者、戰傷病者、在支部隊ノ歸還者等、昭和十五年度中ニ發令可能ノモノニ對スル所要額ヲ見込ンデアルノデアリマス、其ノ數ヲ申上ゲマスト云フト、陸軍約五十二萬、海軍約七萬デゴザイマス、ソレカラ第二ノ御質問ニ關シマシテハ、御意見ノ程ハ十分ニ了承致シテ置キタイト存ジマス

○松村義一君 是デ此ノ質問ハ終リマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ  
昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債追加發行ニ關スル法律案外一件ハ、昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル

○副議長（侯爵佐佐木行忠君）賛成  
○副議長（侯爵佐佐木行忠君）御異議ナイト認メマス  
○副議長（侯爵佐佐木行忠君）日程第三、恩給法中改正法律案、政府提出、衆議院交付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長加藤子爵  
〔左ノ報告書ハ朗讀フ 經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

貴族院議長伯爵松平頼壽殿  
委員長 子爵加藤 泰通

昭和十五年三月二十二日

恩給法中改正法律案

マシテ新タニ戰車加算、滿洲國警備加算ヲ致シマスルカラ、同一委員ニ併託セラレンコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵植村家治君 賛成  
○副議長（侯爵佐佐木行忠君）戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（侯爵佐佐木行忠君）御異議ナイト認メマス  
○副議長（侯爵佐佐木行忠君）日程第三、恩給法中改正法律案、政府提出、衆議院交付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長加藤子爵  
〔左ノ報告書ハ朗讀フ 經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス〕

時扶助料ヲ給スルヤウニ改正スルト云フ點デゴザイマス、此ノ改正案ノ委員會ハ三月十九日ヨリ數回ニ瓦リ開會ヲ致シマシタガ、各委員カラ非常ニ熱心ナ質疑ガアリ、政府委員カラモ亦詳細ニ答辯ガゴザイマシタ、其ノ主ナルモノヲ申上ゲマスガ、第一ハ、若年者トシテ恩給ノ一部停止ヲ受ケテ居ル者ガ、病氣ニナリマシタヤウナ場合ニ、此ノ停止ヲ中止スルヤウナ規定ヲ設ケテハドウカト云フ點デアリマス、政府委員カラハ、若年停止該當者ノ病氣ノ程度ヲ認定シテ個人的事情ヲ斟酌スルコトハ、結果ニ於テ公平ヲ期スルコトハ非常ニ困難デアルカラ、之ヲ直チニ實行スルコトハ出來ナイガ、更ニ將來此ノ點ヲ能ク考究スルト云フ答辯デゴザイマシタ、次ニ恩給外所得ノ決定額ハ、所得稅ノ場合ヨリモ多ク決定サレルヤウニ思フガドウカト云フ質疑ニ對シマシテハ、恩給外所得ハ、所得稅ノ範圍ト違ヒマシテ、勤勞所得ノ控除、扶養控除等ガアリマセヌカラ、所得稅ノ基礎ヨリ多少多くナムカレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセス

マスルガ、多額所得者中、非常ニ多額ノ所得者ノ停止率ガ不徹底デアルカラ、今後再び改正スル必要ガ生ズルヤウニナリハス

ス者ノ恩給ノ停止率ヲ増シ、又恩給以外ニ委託又ハ郵便ニ依リマシテ戸籍ノ届出デ多額ノ所得アル者ノ普通恩給ノ停止ノ範圍ヲ擴ゲルト共ニ、其ノ停止ノ割合ヲ増シ、更ニ委託又ハ郵便ニ依リマシテ戸籍ノ届出

ヲ爲シ、公務員死亡後受理セラマシテ、是ト戸籍ヲ同ジウスルニ至リシ者ヲ、恩給法ノ遺族トシテ取扱ヒ、之ニ扶助料又ハ一時扶助料ヲ給スルヤウニ改正スルト云フ點デゴザイマス、此ノ改正案ノ委員會ハ三月十九日ヨリ數回ニ瓦リ開會ヲ致シマシタガ、各委員カラ非常ニ熱心ナ質疑ガアリ、政府委員カラモ亦詳細ニ答辯ガゴザイマシタ、次ニ恩給總額ハ年々增加スル傾向ガアルガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル考ヲ持テ居ルカ、又恩給最短年限ヲ延長スル考ハナイカト云フ質疑ニ對シマシテハ、政府マシテ、次ニ恩給總額ハ年々增加スル傾向ガアルガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル考ヲ持テ居ルカ、又恩給最短年限ヲ延長スル考ハナイカト云フ質疑ニ對シマシテハ、政府ガアルガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル考ヲ持テ居ルカ、又恩給最短年限ヲ延長スル考ハナイカト云フ質疑ニ對シマシテハ、政府

委員ヨリ、國庫負擔ノ輕減ト受給者ノ生活安定ト云フコトハ、政府ニ於テモ常ニ考慮シテ居ル所デ、今回ノ改正モ根本趣旨ヲ茲ニ置イテ立案シテ居リマス、又恩給年限ノ延長等ニ付キマシテハ、各般ノ社會情勢ノ推移ヨリ見テ十分ニ政究スベキデアルト云フ答辯ガアリマシタ、右ノ質疑ノ外恩給ニ關スル種々ナ質疑應答ガゴザイマシタガ、是等ノ詳細ハ速記録ニ依リテ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、以上ニ依リマシテ質疑ヲ終リ、本案ノ討論ニ入リマシタ所、各委員何レモ原案贊成ノ旨ヲ述ベラレ、次イデ採決ノ結果滿場一致原案通り可決致シマシタ、右簡單デゴザイマスガ御報告ヲ申上ゲマス

○副議長（侯爵佐佐木行忠君）別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセス



タ、農會法中改正法津案ハ、日本肥料株式

會社法案ニ關聯致シマスルガ故ニ、同一委員

ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平 賴壽君) 戸澤子爵ノ動議

ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松平 賴壽君) 御異議ナイト認メマ

ス

○議長(松平 賴壽君) 日程第四ヨリ日程第

二十九迄ノ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ

参照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ敬

フ〕

意見書案

豫定線釜石、盛間鐵道速成ノ件

岩手縣釜石市大字釜石第三地割八十

番地平民公更小野寺有一外六百九十

三名呈出

右ノ請願ハ豫定線釜石、盛間鐵道ヲ速成

スルハ沿線地方ニ於ケル水、礦產資源ノ

開發上資スル所多大ナルノミナラス三陸

沿岸ヲ縱貫スル重要路線トシテ運輸交通

上寄與スル所亦妙カラサルニ依リ速ニ之

カ實現ヲ圖ラレタシテ貴族院ハ願意ニシテ貴族

院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決

致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及

送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

國立天然資源研究所設置ノ件

東京市四谷區東信濃町十番地土族谷

津直秀呈出

右ノ請願ハ現下ノ趨勢ニ鑑ミ國內ニ於ケ

ル天然資源ノ調査研究ニ止マラス東亞南

洋ノ全地域ニ亘リ探検調査ノ歩ヲ進メ新

資源ヲ發見確保シテ之カ根本的研究ヲ行

フト共ニ其ノ應用ニ付檢討考察ヲ遂クル

ハ喫緊ノ要務ナルニ依リ速ニ政府ハ國立

天然資源研究所ヲ設置シ以テ帝國ノ文化

ト產業ノ發展トニ資セラレタシトノ旨趣

ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ

モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ

依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

豫定線岩國、日原間鐵道速成ノ件

山口縣玖珂郡岩國町長永田新之丸外

二十六名呈出

右ノ請請ハ豫定線岩國、日原間鐵道ハ沿

線地方ニ於ケル豐富ナル林、礦產資源ノ

開發上貢獻スル所大ナルノミナラス山陰

山陽兩道ヲ連絡シ運輸交通竝經濟、軍事、

觀光上亦須要ノ線路ナルニ依リ之カ速成

カラサルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタ

シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第

六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

豫定線岩國、日原間鐵道速成ノ件

山口縣玖珂郡岩國町長永田新之丸外

二十六名呈出

右ノ請請ハ豫定線岩國、日原間鐵道ハ沿

線地方ニ於ケル豐富ナル林、礦產資源ノ

開發上貢獻スル所大ナルノミナラス山陰

山陽兩道ヲ連絡シ運輸交通竝經濟、軍事、

觀光上亦須要ノ線路ナルニ依リ之カ速成

ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願

意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因

テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候

也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

豫定線岩國、日原間鐵道ヲ廣

山陽本線周防高森、山口線德佐ノ兩驛

間ヲ鐵道豫定線ニ編入ノ件

山口縣玖珂郡高森町長田中信亮外十

六名呈出

開發上資スル所大ナルノミナラス豫定線

徳佐、大井間鐵道並萩港ト相俟テ北鮮、

北滿ニ至ル捷徑トシテ運輸交通、觀光竝

軍事上亦貢獻スル所少カラス加之岩萩線

ニ比シ其ノ工事容易ナルニ依リ速ニ之カ

區間ヲ鐵道敷設法豫定線ニ編入セラレタ

シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第

六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

豫定線岩國、日原間鐵道速成ノ件

長野市長高野忠衛外五名呈出

長野市長野商工會議所會頭神津藤平

外三名呈出

右ノ請願ハ國道十、十一號線ハ藩政時代

ヨリ北國街道ト稱セラレ關東、北陸ヲ結

フ唯一ノ幹線ニシテ國防竝文化產業ノ發

展上緊要ナルニ鑑ミ曩ニ之カ部分的改良

ヲ見タルモ今尙幅員狹小ニシテ勾配甚シ

ク屈曲著シ箇所少カラサル爲全線ノ改

良ヲ爲スニ非サレハ國道トシテノ效果ヲ

發揮シ能ハサルノミナラス沿道ニハ輕井

澤、志賀高原、赤倉、善光寺等ヲ擁シ且

リ速ニ未改良區間タル群馬、長野ノ縣境

輕井澤ヨリ新潟縣高田市、直江津港ヲ經

テ親不知ニ至ル國道ノ改良ヲ圖ラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採

擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊

十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

釜石港ヲ第一種重要港湾編入ニ關スル件

岩手縣釜石市大字釜石第三地割八十番地平民公吏小野寺有一外三百八十名呈出

右ノ請願ハ岩手縣釜石港ハ三陸沿岸隨一ノ漁港並水產港ニシテ各種物資ノ移出入年數累增シ且開港指定以來外國貿易額モ漸増セルノミナラス近ク釜石製鐵所ノ增産擴張ヲ控へ其ノ重要性ハ時局下倍加重セラレタルニ依リ速ニ同港ヲ第二種重要港灣ニ編入スルト共ニ適當ノ修築計畫ヲ樹立セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院

ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

吳線安藝阿賀、藝術練志和口ノ兩驛間鐵道敷設ノ件

廣島縣吳市長水野甚次郎外十六名呈出

右ノ請願ハ吳線安藝阿賀驛ヨリ山陽本線西條驛ヲ經テ藝術練志和口驛ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ノ產業上資スル所多大ナルノミナラス藝術練志及藝術連絡航路ト相俟テハ山陽、山陰ノ兩道ヲ結ヒ

一ハ中國、四國ノ兩地方ヲ結フ捷徑ト爲リ運輸交通並軍事上須要ナルニ依リ速ニ

之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

久留里線上總龜山、房總東線安房天津ノ兩驛間鐵道敷設ノ件

千葉縣安房郡天津町長高濱三四郎外百十三名呈出

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

右ノ請願ハ久留里線上總龜山驛ヨリ房總

意見書案

豫定線北見枝幸、雄武間鐵道速成ノ件

北海道枝幸郡枝幸村長石川誠治外一名呈出

右ノ請願ハ豫定線北見枝幸、雄武間鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル

物ノ輸送、沿線地方ニ於ケル林產資源ノ開發観光上利便少カラサルヲ以テ速ニ

之カ實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議

決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

吳線安藝阿賀、藝術練志和口ノ兩驛間鐵道敷設ノ件

廣島縣吳市長水野甚次郎外十六名呈出

右ノ請願ハ吳線安藝阿賀驛ヨリ山陽本線西條驛ヲ經テ藝術練志和口驛ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ノ產業上資スル所多大ナルノミナラス藝術練志及藝術連絡航路ト相俟テハ山陽、山陰ノ兩道ヲ結ヒ

一ハ中國、四國ノ兩地方ヲ結フ捷徑ト爲リ運輸交通並軍事上須要ナルニ依リ速ニ

之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

皇祖ノ神勅等ヲ修身教科書ニ謹載ノ件

東京市小石川區龍籠町二百三十七番地士族神宮奉齋會長今泉定助外十六名呈出

意見書案

右ノ請願ハ皇祖ノ神勅ヲ以テ皇民教育ノ根本精神ト爲スハ喫緊事ナルニ依リ皇祖

ノ三大神勅ヲ始メ奉リ 明治天皇ノ政教

院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

紹述シ明治治御一新ノ皇護ト爲シ給ヘル御聖旨ヲ奉戴セシメ以テ皇國體ト皇民意識

ノ明徵ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議

族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議

決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

東京市小石川區駕籠町二百三十七番地士族神宮奉齋會長今泉定助外十六名呈出

右ノ請願ハ皇祖ノ神勅ノ隨ニ神明ヲ奉齋シ皇國ノ祭祀禮典ノ本義ニ則リ其ノ赤誠ヲ日常ノ業務生活上ニ顯現シ祭政一致ノ御皇謨ヲ翼賛シ奉ルハ日本臣民ノ俱ニ遵守スヘキ根本大義ナリ而シテ憲法第二十八條ハ所謂信教自由ニ超然卓越セル思想信念ニシテ自ラ界域アルモノナルニ依リ宗教團體法施行前ニ於テ信教自由ノ界域ヲ闡明公示セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

大坂市南區大寶寺町西ノ町二十二番地平民出版業博多久吉外五十七名呈出

右ノ請願ハ石炭消費量ノ制限強化ニヨリ

製紙會社ノ製產量激減セル結果出版業者  
ヘノ昭和十五年度用紙供給數量ハ前年度  
ニ比シ著シク減少スルコトトナリタル爲  
斯業者ノ困窮一方ナラサルモノアルニ依  
リ速ニ圖書用紙供給ニ關シ製紙會社ニ對  
シ年額五百噸ノ石炭ヲ增給シ月額平均百  
五十萬ボンド以上ノ用紙ヲ供給増配セシ  
メ以テ出版業者ヲシテ其ノ生業ニ安セシ  
メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意  
ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ  
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿  
西日本旱害救濟ニ關スル件  
和歌山市和歌山縣農會長隅田市兵衛  
呈出  
德島市德島市農會長吉見勢之助外八  
名呈出  
神戶市兵庫縣農會長山脇延吉外九  
七名呈出  
德島縣三好郡三野町德島縣三好郡三  
野町農會長藤本兼太郎外五名呈出  
福岡縣八幡市福岡縣八幡市農會長花  
田盛太郎外二名呈出  
滋賀縣大津市滋賀縣大津市農會長堀  
用義次郎外百二十三名呈出  
武村農會長牛尾源一郎外四名呈出  
福岡縣早良郡金武村福岡縣早良郡金  
武村農會長牛尾源一郎外四名呈出  
德島縣阿波郡市場町德島縣阿波郡農  
會長妹尾卯太郎外八名呈出  
福岡縣糸島郡前原町福岡縣糸島郡農  
會長井上俊一外十一名呈出  
右ノ請願ハ現下ノ時局ニ鑑ミ大楠公精神  
ノ鼓吹ヲ圖ルハ最緊要事ナリ而シテ公ノ  
遺蹟申天野山金剛寺境内、觀心寺境内、  
千早城趾、楠木城趾、赤阪城趾、櫻井寺  
跡ハ單ニ史蹟トシテ指定セラルニ止リ  
未之カ顯彰ノ方法ヲ講セサルハ甚遺憾ナ  
ルニ依リ速ニ國費ヲ以テ之カ維持ノ方法  
ヲ計リ忠臣大楠公ノ事蹟ヲ追慕スルト共  
ニ日本精神作興ニ資セラレタシトノ旨趣  
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ  
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ  
依リ別冊及送付候也

昭和十五年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿  
意見書案  
大楠公史蹟顯彰ニ關スル件  
大阪府南河内郡古市町長北野小一郎  
外三十六名呈出  
右ノ請願ハ現下ノ時局ニ鑑ミ大楠公精神  
ノ鼓吹ヲ圖ルハ最緊要事ナリ而シテ公ノ  
遺蹟申天野山金剛寺境内、觀心寺境内、  
千早城趾、楠木城趾、赤阪城趾、櫻井寺  
跡ハ單ニ史蹟トシテ指定セラルニ止リ  
未之カ顯彰ノ方法ヲ講セサルハ甚遺憾ナ  
ルニ依リ速ニ國費ヲ以テ之カ維持ノ方法  
ヲ計リ忠臣大楠公ノ事蹟ヲ追慕スルト共  
ニ日本精神作興ニ資セラレタシトノ旨趣  
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ  
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ  
依リ別冊及送付候也

昭和十五年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿  
意見書案  
大雪山國立公園層雲峽ヨリ常呂郡留邊  
藁町ニ至ル自動車道路開鑿ノ件  
北海道旭川市長足立富外一名呈出  
右ノ請願ハ北海道大雪山國立公園層雲峽  
ヨリ常呂郡留邊藁町ニ至ル自動車道路ヘ沿  
線地方ニ於ケル農、林、礦產資源ノ開發上  
農村民ヲシテ其ノ堵ニ安セシメラレタシ  
トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採  
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六  
十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿  
西日本旱害救濟ニ關スル件  
和歌山市和歌山縣農會長隅田市兵衛  
呈出  
德島市德島市農會長吉見勢之助外八  
名呈出  
神戸市兵庫縣農會長山脇延吉外九  
七名呈出  
德島縣三好郡三野町德島縣三好郡三  
野町農會長藤本兼太郎外五名呈出  
福岡縣八幡市福岡縣八幡市農會長花  
田盛太郎外二名呈出  
滋賀縣大津市滋賀縣大津市農會長堀  
用義次郎外百二十三名呈出  
武村農會長牛尾源一郎外四名呈出  
福岡縣早良郡金武村福岡縣早良郡金  
武村農會長牛尾源一郎外四名呈出  
德島縣阿波郡市場町德島縣阿波郡農  
會長妹尾卯太郎外八名呈出  
福岡縣糸島郡前原町福岡縣糸島郡農  
會長井上俊一外十一名呈出  
右ノ請願ハ昭和十四年西日本一帶ヲ襲ヘ  
ル旱魃ハ其ノ被害激甚ニシテ農村ノ窮状  
言語ニ絶スルモノアリ政府ハ憂ニ之力應  
急對策ヲ講セラレタルモ未十分ナラサル  
ニ依リ速ニ罹災農民ノ救濟、農業生産計  
畫ノ遂行等ノ緊急對策ハ勿論斯ル大旱害  
ヲ防止スルニ足ル恆久的施設ヲ講シ以テ  
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ  
依リ別冊及送付候也

昭和十五年月日 貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿  
意見書案  
白棚鐵道買收ノ件  
福島縣西白河郡白河町字本町二十五  
番地白棚鐵道株式會社長佐久間平三  
郎外五名呈出  
右ノ請願ハ福島縣西白河郡白河町ヨリ棚倉町ニ至  
リ常呂郡留邊藁町ニ至ル自動車道路ヘ沿  
線地方ニ於ケル農、林、礦產資源ノ開發上  
農村民ヲシテ其ノ堵ニ安セシメラレタシ  
トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採  
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六  
十五條ニ依リ別冊及送付候也

ル白棚鐵道ハ開業以來地方交通並産業上

多大ノ貢獻ヲ爲シ昭和十三年政府ヨリ借

上ケラルニ及ヒ水郡線ト相俟テ常磐線

ト東北本線ヲ連絡スル鐵道網ヲ構成シ茲

ニ經營ノ統一ヲ見タリト雖同鐵道ハ施設不

十分ニシテ貨客ノ輸送上甚遺憾ナルニ依

リ速ニ買收シテ之カ内容ノ改善ヲ圖リ以

テ交通統制ノ完備ト地方產業ノ發展トニ

資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願

意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因

テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候

也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

花柳病豫防法改正ニ關スル件

東京市本郷區本富士町東京帝國大學  
醫學部内日本性病豫防協會頭遠山郁  
三呈出

右ノ請願ハ花柳病豫防法ハ曩ニ一部ノ改

正ヲ見タルモ未時勢ニ即應セサルモノア  
ルニ依リ速ニ請願者所案ノ如ク同法ノ根

本の改正ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴  
族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議

決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊  
及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

北海道旭川市ニ貯金支局設置ノ件

北海道旭川市長足立富外一名呈出

部地方ノ郵便振替貯金口座加入數ハ同道

全加入口座ノ三分ノ一ヲ占ムル多數ナル

ニ拘ラス振替貯金ニ依ル送金決済ハ遠隔

ナル小樽貯金支局ヲ經由スル爲其ノ利用

價值著シク減殺セラレ地方民ノ不利不便

少カラサルヲ以テ速ニ恰當ノ地旭川市ニ

振替貯金主管ノ貯金支局ヲ設置セラレタ

シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第

六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

花柳病豫防法改正ニ關スル件

北海道拓殖鐵道補助年限延長ノ件

北海道札幌市南二條西二丁目十二番  
地北海道鐵軌同志會理事長畑金吉外  
一名呈出

右ノ請願ハ北海道ノ私設鐵道及軌道ハ拓  
地殖民ノ先驅トシテ多大ノ貢獻ヲ爲セル

モノアルハ畢竟朝鮮、臺灣等ト異ナレル  
特殊事情アルニ因ルモノニシテ之カ保護

ノ必要ナルコト到底此等諸地方ニ於ケル  
私設線ノ比ニ非ス然ルニ朝鮮ニ於ケル補

助年限ハ既ニ二十五年ニ延長サレ又臺  
灣、樺太ノ補助年限モ近ク二十五年ニ改

意見書案

正セラルルヤニ仄聞スルヲ以テ同道ノ私

設鐵道及軌道ノ補助年限ハ更ニ五年延長

シテ二十五年ト爲スヤウ圖ラレタシトノ  
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇ス

ヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五  
條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

公共圖書館費國庫補助法制定ノ件

東京市大森區雪ヶ谷町七十番地官吏  
松本喜一外一萬四千七百五十五名呈

出

右ノ請願ハ公共圖書館ハ學校ト共ニ國民  
教育ヲ完成スヘキ重要機關ニシテ國運發

展上等閑視スヘカラサルモノナルニ拘ラ

ス未國庫補助ノ途ナク其ノ施設十分ナラ  
サルハ學校教育費ノ補助アルニ比シ均衡

ヲ得ス社會教育上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ  
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第  
六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

教育ニ關スル勅語謄本ヲ船舶ニ交付ノ件

名古屋市港區熱田新田東組字根走九  
十九番地平民稻垣謙治郎呈出

右ノ請願ハ世界的廣範圍ニ活躍セル我船

員ニ對シ國民精神ヲ鼓舞スルハ其ノ特殊  
生活ニ鑑ミ喫緊ノ要務ナルニ依リ之カ根

本トナルヘキ教育ニ關スル勅語ノ謄本ヲ

近海竝遠洋區域ノ航路定限ヲ有スル船舶

ニ交付シテ適當ノ所ニ奉安セシメ祝祭日  
ニハ舉式奉讀以テ日本精神作興ニ資セラ

レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大

體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法  
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

關魚類運搬業水產組合長中部兼市外

四名呈出

右ノ請願ハ水產物ハ我國食糧問題ノ解決  
上益其ノ重要性ヲ増大シタルニ拘ラス支那

東海出漁ノ機船底曳網漁船並鮮魚運搬漁  
船ニ對スル漁業用必需資材ノ配給圓滑ヲ

闕キ爲ニ生產ノ減少、斯業者ノ打擊著シ  
キモノアルハ甚遺憾ナルニ依リ速ニ請願

者記載ノ如ク所要量物資ノ配給ヲ爲スヤ  
ウ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意  
ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因  
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候

也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽  
内閣總理大臣米内光政殿

意見書案

秋田縣米代川改修ノ件

秋田縣北部秋田郡扇田町長明石敬吉外  
四十七名呈出

右ノ請願ハ秋田縣北部三郡ヲ横斷シテ日本海ニ注ク米代川上流部ハ未氾濫防止ノ施設ナキノミナラス水源地帶ノ氾濫伐並鑿山開發ニ伴ヒ其ノ荒廢著シキ爲連年夏秋ノ豪雨期ニハ忽チ出水氾濫シ耕地ノ埋没、道路、橋梁ノ損壊等水害ノ慘禍激甚ニシテ流域住民ノ困窮一方ナラサルモノアルニ依リ速ニ同川ヲ改修シテ農業生産力ノ確保ト銑後農村生活ノ安定トニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十五年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣米内光政殿

○議長(伯爵松平頼壽君) 是等ノ請願ハ、  
請願委員長ノ報告通り採擇スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認ヌマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、  
議事日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時十五分散會

官報號外

昭和十五年三月二十四日

貴族院議事記録卷第一五五號

三三五〇